

柳井医療センター だより

令和6年 1月

〈発行所〉
国立病院機構
柳井医療センター
〈発行責任者〉
宮地 隆史

新年挨拶 院長 宮地 隆史

新年を迎えるにあたりご挨拶させていただきます。

2024年は様々な変革の年になります。2024年度の診療報酬改定は6年に一度の医療・介護・障害福祉サービスのトリプル改定です。光熱費や食糧費の高騰などにより多くの病院が赤字経営を強いられています。安全・安心な医療の提供、医療・介護・障害福祉サービス領域からの人材流出を防ぐためにも健全な経営基盤が大切です。今回の医療の報酬改定では本体部分についてプラス改定との報道がなされておりますが将来を見据えた対応をして参りたいと思います。

世界に目を向けるとロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとパレスチナの紛争が継続し情勢は非常に不安定です。その中で今年はパリ2024夏季オリンピック・パラリンピックが開催されます。個人的には自らの力でパリ行きの切符を手にした日本バスケットボールを応援しています。柳井市出身の河村勇輝選手の活躍にも期待しています。

2024年4月から医師の働き方改革の新制度が施行されます。医師が健康に働き続けることができる環境を整備することは、医師本人にとってはもとより、患者・国民に対して提供される医療の質・安全を確保すると同時に、持続可能な医療提供体制を維持していく上で重要とされています。また医療法に基づく医療計画の位置づけで第8次山口県医療計画が作成中です。2024年4月から2029年3月までの6年間の保健医療計画に沿って山口県の一医療機関として活動していくことになります。山口県の基本目標として「生涯を通じて健康で安心して暮らせる地域保健医療体制の確立」が掲げられ、目標実現のための視点として、「県民の安心・安全を支える保健医療提供体制の構築」、「地域の保健医療を担う人材の確保と資質の向上」が示されています（2023年10月10日時点 第8次山口県保健医療計画（素案）より引用）。柳井医療圏域では働き手の不足が顕著になっている中で、医師会、自治体、保健所等の地域の皆さま方と連携して参りたいと思います。

当院が専門としている疾患領域において二つの法律等が2024年より施行および改正があります。「共生社会の実現を推進するための認知症基本法（2023年6月16日成立）」が2024年中に施行されます。①認知症の人に関する国民の理解の増進等、②認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進、③認知症の人の社会参加の機会の確保等、④認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護、⑤保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等、⑥相談体制の整備等、⑦研究等の推進等、⑧認知症の予防等、が基本的施策として挙げられています。当院は柳井医療圏域の地域型認知症疾患医療センターとして認知症の地域医療に貢献して参ります。また「難病の患者に対する医療等に関する法律」における「難病患者の医療等の総合的な推進を図るための基本的な方針」の改正が2024年4月1日から施行されます。これは児童福祉法における「良質かつ適切な小児慢性特定疾病医療支援の実施とその他の疾病児童等の健全な育成に係る施策の推進を図るための基本的な方針」と同時に改正されます。当院は山口県指定の難病医療協力病院として、また国立病院機構病院の役割の一つであるセーフティーネット医療を行う病院として神経・筋難病を中心とした神経疾患の医療・看護を推進して参ります。

2024年も地域・職員から“選ばれる病院”を目指して参りますのでご支援・ご協力のほど宜しくお願い致します。

理 念

- 一 良質の医療を提供します
- 一 素晴らしい療養環境を提供します
- 一 患者満足度の向上に努めます
- 一 職員満足度の向上に努めます



新任職員の紹介

脳神経内科医師 **山本 優美子** やまもと ゆみこ

2024年1月より脳神経内科医師として赴任しました、山本優美子と申します。出身は広島市です。山口県の土地勘が全くないため、地名が出てくると「…???」となると思いますが、地図を片手に頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

～第77回 国立病院総合医学会～

令和5年10月20日～21日広島市にて『未来へ向かって ～日本の医療を支える国立病院機構～』というタイトルのもと総合医学会が開催されました。当院では5名の職員が発表を行いました。

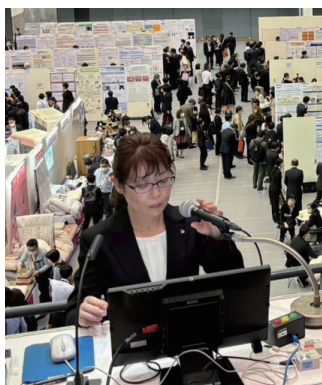


視床性の運動失調性片麻痺に対しウェルウォーク WW-1000を用いて早期歩行自立となった症例

リハビリテーション科理学療法士 **吉村 和輝**

「広島県で開催された第77回国立病院総合医学会に口演発表してきました。国立病院総合医学会は全国から多職種の先生方が参加されるので、最新の研究結果や新しい知識を得ることが出来ます。自身の臨床業務や活動に生かせるのは勿論ですが、何より自分自身のモチベーションの向上に繋がっており、発表後は諸先生方と交流を深めることが出来るのも学会参加の醍醐味ではないかと感じています。

また当院では政策医療の中でもセーフティーネット領域である神経・筋疾患の医療や血液/腹膜透析医療等を中心に活動しています。私自身としてもとても興味のある分野なので、当院の特色を生かして医療に貢献できるよう今後も積極的に学会発表に取り組んでいきたいと思っています。」



高齢入院血液透析患者の栄養状態に関する実態 ～MNA-SF(簡易栄養状態評価表)を用いた栄養評価～

3階病棟 **吉本 桐子**

この度、第77回国立病院総合医学会に参加し、昨年研究した「高齢入院血液透析患者の栄養状態に関する実態～MNA-SF(簡易栄養状態評価表)を用いた栄養評価～」について口演発表をさせていただきました。広島県立総合体育館の客席を口演会場に工夫されており、演者とフロアが身近に感じられる会場となっていました。その中で、質疑応答も経験し、研究で言いたいことを他者に適切に伝えることの難しさを実感しました。また、他施設の発表で骨折患者、COPD患者、重症心身障害児等幅広い分野での栄養状態の実態調査をNSTの介入に結びつけて行っていました。今後、この経験を患者さんの看護に活かし、後輩への指導にも役立てていきたいです。

継続的な急変時シミュレーション研修による急変時対応スキルアップの効果

4階病棟 **藤原 猛**

パーキンソン病患者の拘縮手に対する効果的な清潔ケアの検討 ～カテキンロールを使用して～

5階病棟 **中部 祐起**

筋萎縮性側索硬化症患者の意思決定支援に関する外来看護師の認識

外来・中材・手術室 **恵谷 江里子**

地域医療連携室コーナー

地域包括支援センターや行政の担当者の方に 「脳体力トレーナーCogEvo Pro」と 「Linaria-360 VR」を体験していただきました！

脳体力トレーナーCogEvo (cog-evo.jp)

認知機能のチェックとトレーニングができるタブレットタイプのクラウドサービスになります。認知機能の変化を早期にチェックできる機能として地域行事や健康イベントでも活用でき認知症の予防啓発にも利用できるということで体験していただきました。



参加者の声



- ・ゲーム感覚でできたので抵抗なく取り組めた。認知症に興味関心を持っていただくのにはよいきっかけになる。また苦手もわかるので生活上で今後どのような工夫や気を付けることなどコメントにもう少し記入されているとなおよいかなと思った。
- ・実際に自分で体験してみて、ゲーム感覚でできて市民の方や学生の方に興味を持ってもらえそうだなと思った。
- ・自分の弱いところが認識できる、面白い

Linaria-360 VR動画コンテンツ「Linaria-360」(sumitomo-pharma.jp)

パーキンソン病・レビー小体型認知症の幻視や錯視などの症状を患者視点、介助者視点で体験できるVRコンテンツ

パーキンソン病の患者さんから「幻視があることを家族に理解してもらえない」との声から製薬会社にVRをお借りし、ご家族や地域包括支援センターの方にも体験してもらいました。



体験者の
声

- ・とってもリアルでその人の生活状況の大変さを感じることができた。
- ・いないはずの人が本当にいるように見えて皆さんこのような大変さを抱えておられるのだと勉強になった。これから声掛けなど気を付けようと思った。
- ・映像がリアルで幻視の見え方が体験できた。

令和5年度 神経難病研修会を開催しました

2023年11月11日神経難病研修会を開催しました。

今年度はパーキンソン病関連疾患でもある多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、脊髄小脳変性症について宮地院長、今村副院長に基礎知識を講義していただき日頃の支援で困っていることなどについてグループワークを行いました。

参加者は26名と西は山口市から東は岩国市から足を運んでいただきました。

参加者からは、

知らないことばかりでなんでも勉強になる

難しいしすぐ忘れてしまうので何度聞いても勉強になる

多職種の方と話ができて有意義だった

とコメントいただきました。研修会が終わってもなかなか相談が尽きない状態で対面研修の良さを改めて感じました。来年度も地域のニーズに合った研修を企画できるように考えていきたいと思います。



認知症疾患医療センターコーナー

室温と脳(認知症)の関係

今年は暖冬傾向のようですが、それでも寒さが一段と厳しい季節となりました。突然ですが、みなさんのお家の室温はどのくらいでしょうか？室温と脳は大きな関係がある事をご存知ですか？

慶応義塾大学大学の伊香賀俊治先生の研究によると、冬場の居間の温度が低い家とそれよりも5度高い家を比べてみると暖かい家に暮らす人の方が脳年齢が10歳も若かったという結果が報告されています。

では、「室温と脳(認知症)」は、何の関係しているのでしょうか？

その理由は、

1. 血管のダメージにより血管性認知症を引き起こす

寒い環境にいと体温が下がる事を防ぐために血管を収縮させることによって血圧が上昇します。その結果、脳血管に動脈硬化を生じさせ脳梗塞や小さな血管が切れてしまうことで脳にダメージが起こり血管性認知症を引き起こすこととなってしまいます。

2. 意欲の低下がアルツハイマー型認知症を引き起こす

寒い環境にいと動く意欲がなくなり活動量が低下します。脳にとっては頭を使う事も体を使う事も同じ情報処理のため、運動量が減れば脳の機能も明らかに低下してしまいます。その結果、アルツハイマー型認知症を引き起こすこととなってしまいます。

その他、室温と脳は運動機能や突然死等にも関係がありようです。

室温と脳の関係も驚きですが、伊香賀先生のこの研究、実は高知県檜原町と山口県長門市に住んでおられた40～80歳代の方を対象に研究が進められたことに更に驚きました。

簡単にできる寒さ対策！

・暖房機器の活用

光熱費の高騰により倏約されているご家庭も多いと思います。しかし脳の健康のために家を暖かくする事をお勧めします。エアコンの使用の際には乾燥するため加湿も一緒に行いましょう（最低室内温度18度以上、脳の快適温度は22℃～24℃）

・断熱も十分に

暖房だけでなく断熱を行う事で冷気の侵入や暖気が外に出る事を防ぐことができます。カーテンを厚手の物にする事からはじめてみるのもおすすめです。

寒さがまだまだ続きますができる事がらはじめてみて、2024年も元気に過ごしていきましょう！！

(参考資料) 土岐内科クリニックホームページより

病院の統計

一般病床204床、療養介護病床76床				
年 月	当院平均 患者数(人)			紹介患者数(人)
	入 院		外 来	
	一 般	療養介護		
R5.11	188.8	73.8	67	69
(R5年度計)	189.8	74.9	61.4	574

【紹介率】 単位：％

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計平均
R 4	86.7	90.9	79.6	79.4	87.0	88.1	79.6	90.2	83.1	89.5	84.5	86.3	85.1
R 5	88.8	79.8	80.0	92.9	82.8	92.4	86.1	82.6					83.6

【病床利用率】 ※一般病床のみ 単位：％

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計平均
R 4	95.1	93.0	95.3	95.9	95.5	93.9	92.8	96.9	95.1	92.3	93.7	91.8	94.2
R 5	89.6	92.3	92.5	91.1	96.0	96.7	93.6	92.5					91.0

外 来 診 療 担 当 表

		月	火	水	木	金	備 考
内 科		—	まつもと のぶお 松本 信夫	—	まつもと のぶお 松本 信夫	まつもと のぶお 松本 信夫	要 予 約
脳神経内科	初 診	いまむら みやち 今村・宮地	ふくば ひろまさ 福場 浩正	にしがわ ともかず 西川 智和	やまさき まさみ 山崎 雅美	まつもと のぶお 山本優美子	要 予 約
	再 診	にしがわ ともかず 西川 智和	やまもと ゆみこ 山本優美子	みやち たかふみ 宮地 隆史	みやち たかふみ 宮地 隆史	ふくば ひろまさ 福場 浩正	
	再 診	ふくば ひろまさ 福場 浩正	—	いまむら えいじ 今村 栄次	にしがわ ともかず 西川 智和	やまさき まさみ 山崎 雅美	
外 科	初 診	たどころ たけし 田所 剛志	たけもと まさひこ 竹本 将彦	すみもと りょう 住元 了	まつおか こうじ 松岡 功治	まつもと とみお 松本 富夫	火・木曜日 午後手術日
	初 診	なんば ようすけ 難波 洋介	なんば ようすけ 難波 洋介	—	すみもと りょう 住元 了	—	
	再 診	たけもと まさひこ 竹本 将彦	まつもと とみお 松本 富夫	—	たけもと まさひこ 竹本 将彦	まつおか こうじ 松岡 功治	
	再 診	—	—	—	—	たどころ たけし 田所 剛志	
腎 臓 内 科					たかはし あきら 高橋 輝		
整 形 外 科				たなか てるやす 田中 晶康	かわばた しんご 川端 紳悟		
循 環 器 内 科		こばやし ゆうすけ 小林 佑輔		おくり なおと 小栗 直人			
呼 吸 器 内 科			かわもと かずま 川本 数真			いそやま しょうご 磯山 正子	
肝・胆・脾・消化器科		つげ まさたか 柘植 雅貴					
糖 尿 病・内分泌内科						おおの はるや 大野 晴也	
内 視 鏡		まつもと のぶお 松本 信夫		まつもと のぶお 松本 信夫		第1・3週 まつおか こうじ 松岡 功治	要 予 約
		まつおか こうじ 松岡 功治		まつおか こうじ 松岡 功治		第2・4週 はまだ たくろう 濱田 拓郎	
皮 膚 科			(隔週) まつばら たいき 松原 大樹 やなぎだ 柳田のぞみ				
泌 尿 器 科		いわた ぎょうすけ 岩根 亨輔					午後のみ

は広島大学病院医師

令和6年1月1日現在

腹部救急診療

24時間365日体制で診療しています。

対象患者
激しい腹痛、心窩部痛、
側腹部痛、腰痛、肛門会陰部痛、
鼠径部痛、下血症例



救急担当医は次のようになります。(※時間外の体制)

	月	火	水	木	金	土	日
担当医	難波	松岡	松本(富)	竹本	当番外科医	当番外科医	当番外科医

※消化器外科医が病院内に24時間365日常駐しています。

CT・MRIの検査予約を受付ています

当院では、CT及びMRIの検査予約を行っています。
下記の連絡先に予約を申し込んでください。放射線専門医
による読影結果はFAX及び郵送にてお届け致します。撮影
画像はCD-Rで患者様にお渡し又は郵送致します。
(至急依頼の場合の検査報告は検査後2時間ほどで出ますの
でFAX後、郵送致します。)

CT・MRIの予約受付先

国立病院機構柳井医療センター放射線科受付

担当者 山本(やまもと)

電話:0820-27-0211 内線538または229

※なお、FAXでの申し込み及びその他の診療予約については地域医療
連携室へ申し込んでください

